和光市の一般会計予算

『315億400万円だけど315億400万円ではない!?』

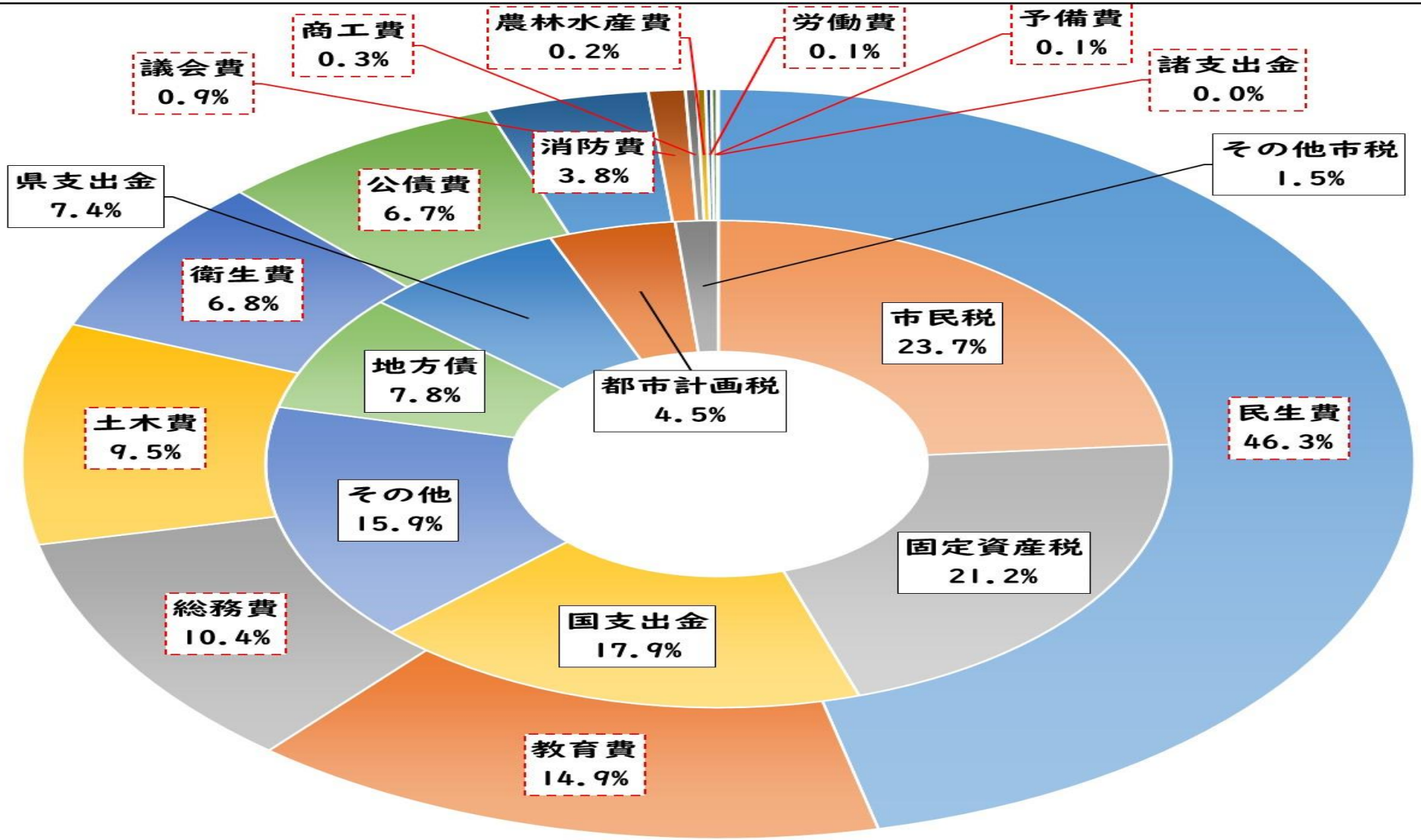
和光市の予算での収入は、大きく分けて市債、国・県からの支出金、その他（負担金・分担金、利用料・使用料、基金取崩し）、そして、一般財源（市民税、国からの交付金など）となっています。

市債、国・県交付金は、市債の償還、また、決められた事業に充てることになり、和光市で自由に使えるお金ではありません。また、余れば返すことになります。さらに、一般財源からは、人件費などに支出することとなります。このような、支出をみながら各事業への支出を考えていかなければなりません。

令和5年度の一般財源総額は、315億400万円ですが、予算総額と実際に市の裁量で使える額（一般財源の額）を細かに見て、将来負担や事業効果を検討していく必要があると考えます。

令和５年度一般会計当初予算の収入と支出の内容と割合

収入では、市民税（個人・法人）、固定資産税、都市計画税でほぼ半分となっています。支出では、民生費（社会福祉、児童福祉、生活保護など）が46.3%、次に教育費となっています。教育費は、第三小学校の用地取得で大きくなっています。



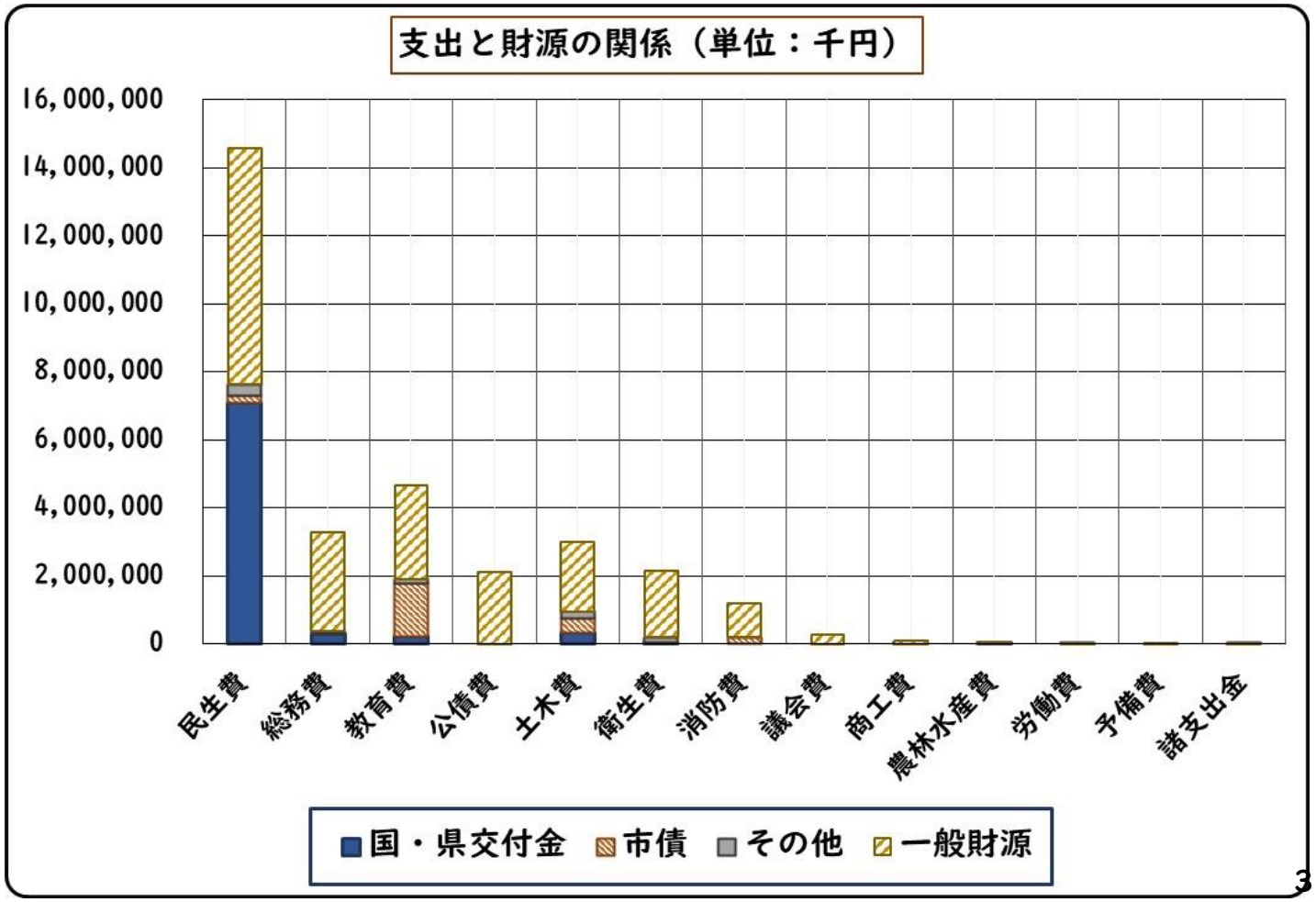
令和５年度一般会計当初予算の収入と支出の内容と割合

◆収入では、市民税（個人・法人）、固定資産税、都市計画税でほぼ半分となっています。

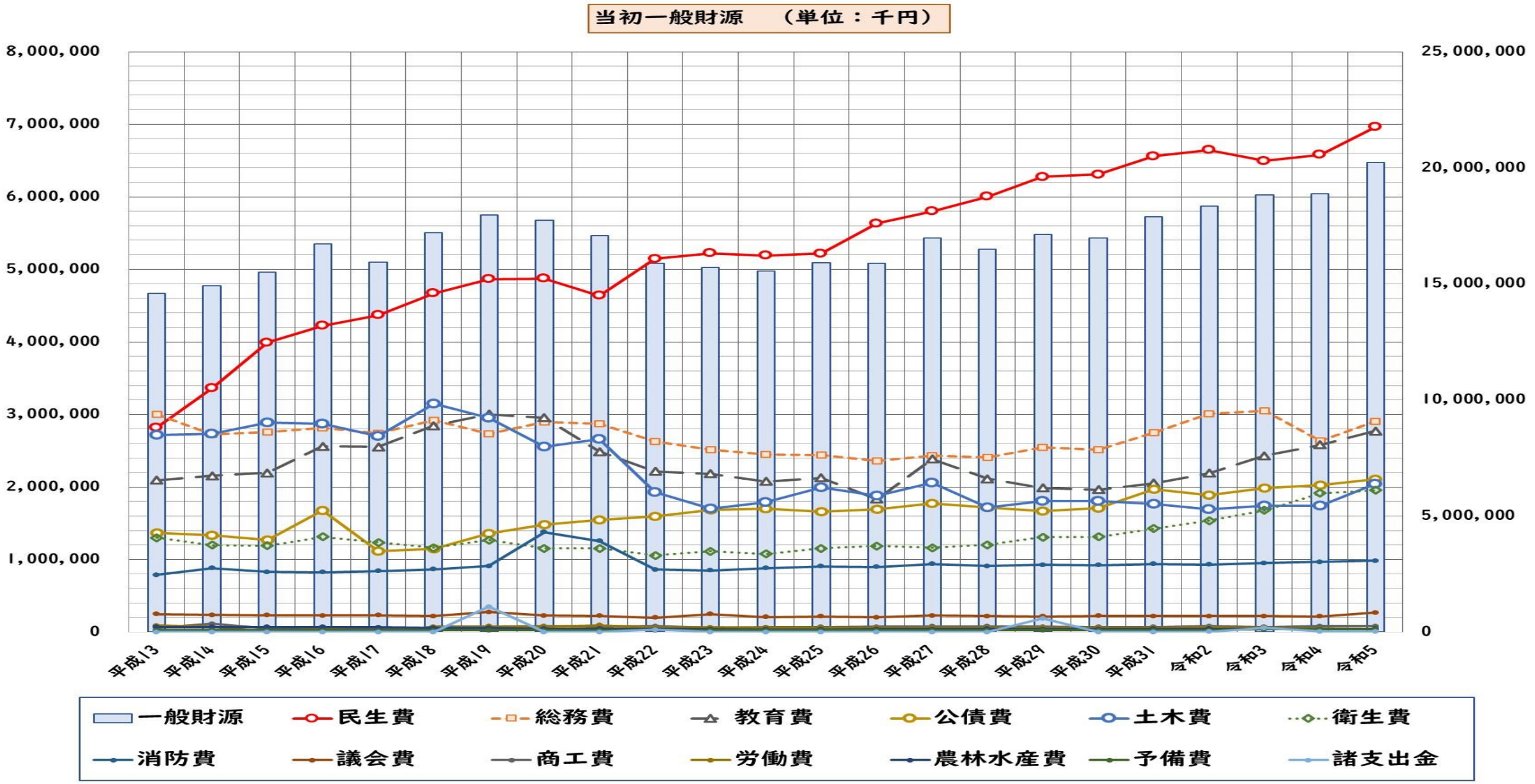
◆支出では、民生費（社会福祉、児童福祉、生活保護など）が46.3%、次に教育費となっています。

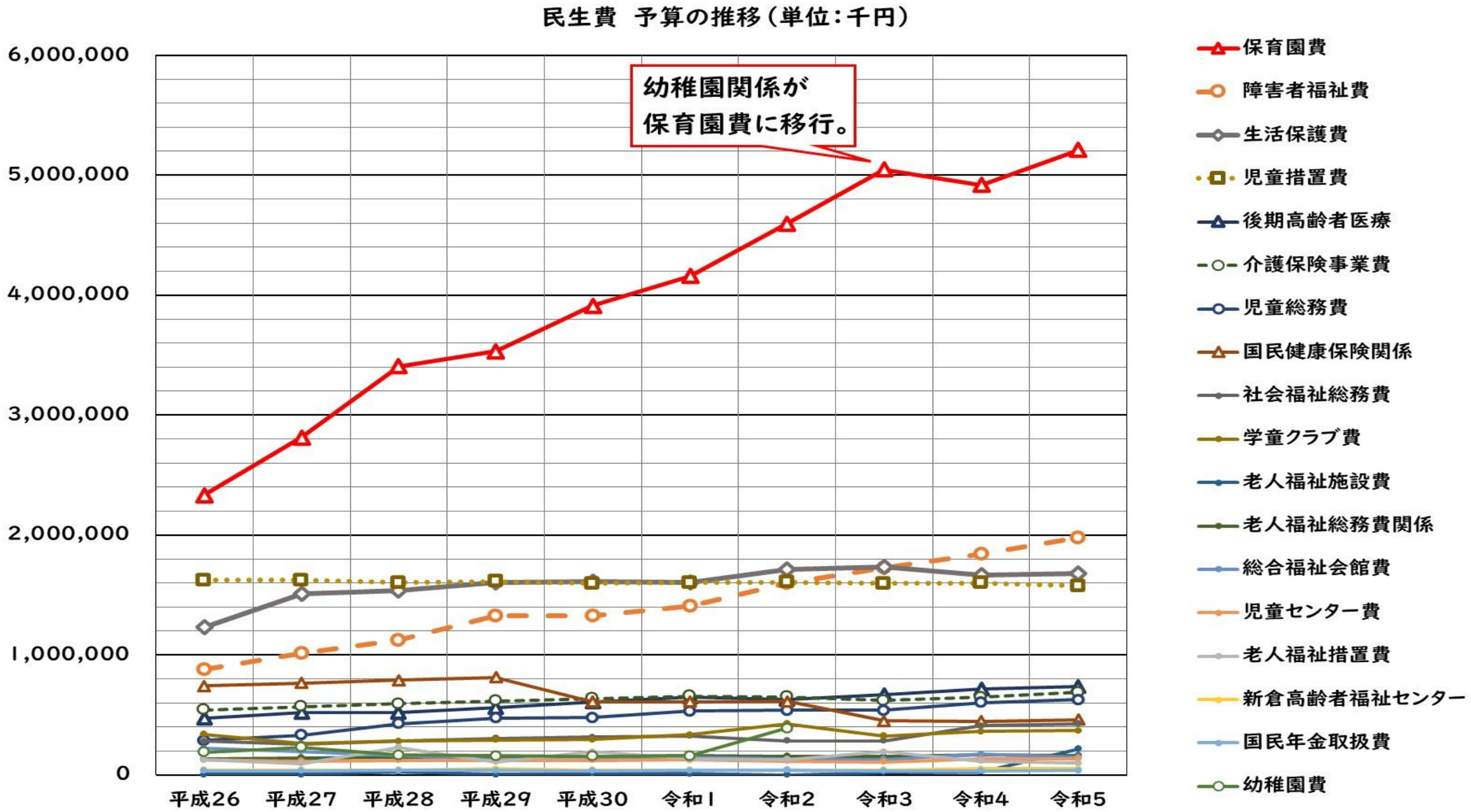
◆一般財源（市の裁量で使えるお金）は、民生費、総務費（総務関係の人件費を含む。）、教育費、そして公債費（市債の償還）となっています。

	国・県交付金	市債	その他	一般財源
民　生　費	7,076,954	212,000	338,053	6,962,909
総　務　費	287,969	0	78,664	2,904,695
教　育　費	206,536	1,584,600	114,984	2,772,894
公　債　費	0	0	0	2,111,379
土　木　費	313,661	454,900	193,261	2,044,277
衛　生　費	61,652	0	139,298	1,956,802
消　防　費	0	198,000	0	983,675
議　会　費	0	0	0	268,975
商　工　費	1,093	0	0	80,038
労　働　費	0	0	2,143	40,361
農林水産費	3,545	11,400	4,319	45,908
予　備　費	0	0	0	40,000
諸支出金	0	0	55	9,000
合　　計	7,951,410	2,460,900	870,777	20,220,913



下のグラフは、和光市の一般財源総額と個々に充てられている一般財源額の推移を表したものです。福祉関係の民生費が継続的に上昇しています。一般会計の民生費の推移については、スライドの5を参照ください。




民生費　予算の推移（単位：千円）
6,000,000
5,000,000
4,000,000
3,000,000
2,000,000
1,000,000
0
平成26
平成27
平成28
平成29
平成30
令和1
令和2
令和3
令和4
令和5
幼稚園関係が
保育園費に移行。
保育園費
障害者福祉費
生活保護費
児童措置費
後期高齢者医療
介護保険事業費
児童総務費
国民健康保険関係
社会福祉総務費
学童クラブ費
老人福祉施設費
老人福祉総務費関係
総合福祉会館費
児童センター費
老人福祉措置費
新倉高齢者福祉センター
国民年金取扱費
幼稚園費